



第 281 回展示

「EU と王室」

期間：5月6日（金）～31日（火）

場所：1階レファレンスルーム 展示コーナー



euuj 日・EUフレンドシップウィーク

三田メディアセンター展示委員会・慶應義塾大学 EU 情報センター



日・EU フレンドシップウィークとは？

日本と EU との政治や経済における結び付きは、歴史的にも強く深いもので、お互いに様々な点で影響しあっています。そのような EU をさらに皆さんの身近なものとするために、2001 年に始まったのが「日・EU フレンドシップウィーク」です。毎年 5 月 9 日の「ヨーロッパ・デー」を中心に、駐日欧州委員会代表部と関連機関との協力のもとで開催されています。文化、社会、学術、スポーツといった親しみやすい催しをとおして、日本と欧州連合（EU）の人と人との交流を深めることを目的としています。

慶應義塾大学三田メディアセンターは、EU 情報センター（後述）の一つとして、毎年この活動に参加しています。本年は、4 月 29 日のイギリスのウィリアム王子とケイト・ミドルトンさんとのロイヤルウェディングを記念し、日本となじみ深いイギリス王室やイギリス史関連の資料をはじめ、図書館所蔵の貴重書・準貴重書を中心にご紹介します。なお、貴重書は前期（5 月 6 日～18 日）と後期（19 日～31 日）の二期に分けて展示します。



EU 情報センター

EU 情報センター(European Info = EU i)は、欧州委員会が EU 情報を提供するために世界各国に設置しているセンターです。三田メディアセンターは 1982 年に指定されました。官報、条約、年次・月例報告書、統計資料など EU 公式資料を所蔵し、一般にも広く公開しています。

図書館の 4 階には EU から送付された EU 刊行物（主に英文）がまとめて配架されています。3 階には EU 情報にアクセスできる専用端末があります。どうぞご利用ください！



展示品リスト

1. **[Manuscript chronicle of the king of England from Hely and his son Lud (first century B.C.) to Edward IV] 【前期】**

London? , [a. 1461-1483] 1 roll: vellum ; 770 x 30 cm. (170X@11)

イギリス王家の系図を記した巻物状の写本（卷子写本）です。ブリテンの建国者とされる伝説上の王、ブルータスからはじまり、15 世紀のエドワード 4 世 (1471-1483) で終わっています。シェイクスピア悲劇の主人公のリア王や、アーサー王（資料 6）も系図に含まれています。数々の英雄を祖としていることにより、エドワードが王位を継ぐことの正当性を主張するためにつくられたものであると考えられています。

2. **Chronicles of England** 【前期】

Westminster : William Caxton , 1480. (120X@494@1)

ウィリアム・キャクストン (c.1422-1492) はイギリス最初の印刷出版業者です。キャクストンは大陸から印刷術を持ち込み、ウェストミンスター寺院の一隅に印刷所と書店を構え、自ら印刷した書物や、大陸から輸入した印刷本や写本を販売しました。本書『イングランド年代記』はその工房で印刷されたもので、現存する 13 の完全本のうちの一つです。

3. **[Chronicles of England]** 【後期】

[St. Albans : s.n. , 1485?] (120X@656@1)

ウィリアム・キャクストン (資料 2) に続き、1480 年代にはロンドン北部のセント・オーバンズに印刷業者が現れました。この人物の正体は分かっていませんが、ラテン語による冊子を印刷しているため、文法学校の教師であったと考えられています。部分的にキャクストンの活字が用いられており、キャクストンからの支援を受けていたものと思われます。本書はイギリス最初のカラー印刷本で、木版の挿絵も用いられた意欲的な作品です。

4. **Historia Maioris Britanniae : tam Anglie q Scotie, per Ioannē Maiorem, nomine quidem Scotum, professione autem theologum, e veterum monumentis concinnata** 【後期】

[Paris] : venundatur Iodoco Badio Ascensio , [1521] (120X@754@1)

ジョン・メジャー (c.1467-1550) は、歴史家、哲学者であり、パリ大学とセント・アンドリューズ大学で哲学と神学を教えました。本書『イングランドとスコットランド両国の年代記』は彼の最も良く知られた著作であり、二つの国の融合を促進するために書かれたとされ、スコットランド王ジェームズ 5 世 (1512-1542) に捧げられています。ジェームズ 5 世はスコットランド王ジェームズ 4 世 (1473-1513) の息子であり、かつイングランド王ヘンリー 7 世 (1457-1509) の孫にあたることから、両国の融和の象徴としてふさわしい人物であると考えられていました。

5. **1577, the firste volume of the chronicles of England, Scotlande, and Irelande : conteyning the description and chronicles of England, from the first inhabiting vnto the Conquest : the description and chronicles of Scotland, from the first originall of the Scottes nation, till the yeare of our Lorde 1571 : the description and chronicles of Yreland, likewise from the first originall of that nation, vntill the yeare 1547 / faithfully gathered and set forth by Raphaell Holinshed** 【前期: v.1, 後期: v.2】

London : Imprinted for Iohn Hunne , [1577] 2 v. (120X@721@1~2)

ラファエル・ホリンシェッド (c.1525-1580?) はイギリスの歴史家で、彼が共同出版した『イギリス年代記』の第 2 版はシェイクスピアがマクベスやリア王といった史劇の参考にした資料として知られています。

6. **The most ancient and famous history of the renowned Prince Arthur, King of Britaine : wherein is declared his life and death, with all his glorious battailes against the Saxons, Saracens and pagans ... as also, all the noble acts, and heroicke deeds of his valiant knights of the Round Table** 【前期】

London : Printed by W. Stansby for I. Bloome , 1634 ca. (120X@962@1)

イギリスの伝説的英雄アーサー王とその円卓騎士団の物語は、フランスを中心として中世ヨーロッパのほぼ全土で親しまれました。トマス・マロリー (c.1416-1471) は各地に流布するアーサー王伝説の集大成として、本書『アーサー王の死』をまとめました。1485年に印刷業者ウィリアム・キャクストンが初版を発行してからも版を重ね、1634年にウィリアム・スタンズビーが出版したのが本書です。

7. **Assertio septem sacramentorum aduersus Martin. Lutherū : aedita ab inuictissimo Angliae et Franciae rege, et do / Hyberniae Henrico eius nominis octauo** 【後期】

[Londinum : In aedibus Pynsonianis , 1521] (120X@657@1)

ヘンリー8世 (1491–1547) は、チューダー朝2代目のイギリス王です。ルターの起こした宗教改革運動に反対し、ローマ・カトリック教会を擁護するために著したのが本書『7つの秘跡の主張』で、ローマ教皇から「信仰擁護者」Defensor Fideiの称号を授けられることとなりました。しかしその後、王妃キャサリンとの離婚と、アン・ブーリン (資料14) との再婚が教皇に認められなかったため、1534年にローマ教会より離脱してイギリス国教会(イングランド教会)の最高首長となり、1538年に教皇から破門されてしまいました。ただし「信仰擁護者」の称号は、その後も現在のエリザベス2世まで引き継がれています。

8. **Nobilitas politica vel civilis : Personas scilicet distinguendi, et ab origine inter gentes, ex principum gratia nobilitandi forma. Praeter omnium, antehac, de sola theologica, aut philosophica tantum nobilitate disceptantium (civiles interim praetereunti ū) conclusiones Quò tandem & apud Anglos, qui sint nobilium gradus, & quae ad nobilitatis fastigia evehendi ratio, ostenditur** 【前期】

Londini : typis Gulielmi Jaggard: in via Barbicanea , 1608. (120X@821@1)

ロバート・グローヴァー (1543/4-1588) は紋章官 (herald) であり、系図学者として膨大な古文書を収集しましたが、完璧主義者のため、生前に研究成果を公表することはありませんでした。死後に甥によってまとめられたのが本書『国家あるいは都市の貴族』で、エリザベス1世 (1533-1603) やプリンス・オヴ・ウェールズの銅版画が含まれています。

9. **Ordenliche Beschreybung der Fürstlichen Hochzeyt, die da gehalten ist worden, durch den Durchleüchtigen, Hochgebornen Fürsten unnd Herrn, Herrn Wilhelm Pfaltzgraf beim Rheyn, Hertzog inn Obern und Nidern Bayern &c. Mit dem Hochgebornen Fräwlin Renatta, geborne Hertzogin auss Luttringe, den 21. tag Februarii, des 1568 Jars, ... / in teütsche Carmina gestellt, durch Hainrichen Wirre ...** 【後期】

Augspurg : Philipp Ulhart , [1568] (120X@1021@1)

1568年2月21日にミュンヘンで行われた、ライン宮中伯でバイエルン侯ヴィルヘルムとルートリンゲン大公レナータとの結婚式の公式記録です。各ページが木版の縁飾りで飾られています。さまざまな武装での騎乗槍試合の様子を描いた木版画が含まれており、近代初期の騎士道の様子が分かります。

10. **Privy purse expenses of the Princess Mary, daughter of King Henry the Eighth, afterwards Queen Mary / with a memoir of the princess, and notes.** By Frederick Madden

London : W. Pickering , 1831. (B@233.05@P6@1) [準貴重書]

イギリス女王メアリ1世(1516-58)はヘンリー8世(資料7)とその最初の王妃キャサリンとの子です。"privy purse"とは、英国政府が国王に与える手元金のことをいいます。本書は1536年の12月から1544年の12月までの手元金の使い道の記録で、オリジナルは大英博物館で所蔵しています。メアリ1世は1553年に即位後、父王の政策を否定して旧教会を復活し、プロテスタントを迫害したため、「血なまぐさいメアリー」Bloody Maryとの悪名を残しました。

11. **The history of England : from the invasion of Julius Cæsar to the Revolution in 1688 / by David Hume**

A new ed, with the authour's last corrections and improvements

London : Printed for T. Cadell , 1778, 8 v. (EC@11B@7621@1~8) [準貴重書]

デビッド・ヒューム(1711-1776)は、イギリス古典経験論を代表する哲学者・歴史家です。本書『イングランド史』は彼の主著で、ジュリアス・シーザーのブリテン島侵入から名誉革命までを描いた本格的な通史です。存命中からベストセラーとなり、1世紀あまりに渡って広範囲の読者を獲得しました。

12. **Papers relative to the marriage of King James the Sixth of Scotland, with the Princess Anna of Denmark; A.D.M.D. LXXXIX. : and the form and manner of Her Majesty's coronation at Holyroodhouse. A.D.M.D.X.C** (Bannatyne club. Publications ; no 26)

Edinburgh : [s.n.] , 1828. (B@233.2@G3@1) [準貴重書]

スコットランド王ジェームズ6世(=イングランド王ジェームズ1世)(1566-1625)は、スコットランド女王メアリー・スチュアートの子で、母の退位により1歳でスコットランド王に即位し、1603年にエリザベス1世(資料8)の死とともにイングランド王位を兼ねてスチュアート朝を開きました。1589年にデンマーク王兼ノルウェー王フレデリク2世の娘アンナ(アン・オブ・デンマーク)と結婚し、アンナから王への手紙など、関連文書をまとめたものが本書です。Bannatyne Clubは英国の詩人・小説家のウォルター・スコット(1771-1832)によって結成され、スコットランドの歴史や詩・文学作品を多く復刻しました。

13. **Victoria and Albert at Cambridge : the royal visits of 1843 and 1847 as they were recorded by Joseph Romily, Registry of the University**

[Cambridge] : Cambridge University Library, 1977. (TB@9@2021) [準貴重書]

ヴィクトリア女王 (1819-1901) とアルバート公 (1819-1861) による、1843年と1847年の2回のケンブリッジ大学訪問を記念した小冊子です。左ページには席次表があり、学長をはさんで女王と公が並んで座っていることが分かります。右ページは晩餐の献立表で、メニューには Les Filets de Turbot a la Bechamelle (ヒラメのベシヤメルソース)、Les Petits Pigeons en Aspic (子鳩のゼリー添え)、Sauté de Saumon (サーモンのソテー)、Creme d'Ananas (パイナップルのクリーム) などが見られます。

14. **Facsimiles of original drawings by Hans Holbein in the collection of His Majesty for the portraits of illustrious persons of the court of Henry VIII / engr. by Francis Bartolozzi with biographical notices by Edmund Lodge**

London : John Chamberlaine , 1884. (142Y@29@1) [準貴重書]

ハンス・ホルバイン (1497/98-1543) はドイツの画家で、同名の画家である父に対し、小ハンスともよばれます。デューラーと並ぶドイツ - ルネサンスの代表的画家で、肖像画を得意とし、1536年以後はヘンリー8世 (資料7) の宮廷画家として活躍しました。肖像画のモデルであるアン・ブーリンはヘンリー8世の2番目の王妃で、エリザベス1世 (資料8) の母です。前述のように、彼女との再婚に対する教皇の反対が、英国における宗教改革を引き起こすこととなりましたが、男子が生まれなかったため、王子を熱望する王によって、不義を口実に処刑されてしまった悲劇の女性でもあります。

15. **A memorial of the marriage of H.R.H. Albert Edward, Prince of Wales, and H.R.H. Alexandra, Princess of Denmark / by W.H. Russell ; the various events and the bridal gifts illustrated by Robert Dudley**

London : Day and Son , [1863] (142Y@28@1) [準貴重書]

ヴィクトリア女王とアルバート公 (資料13) の長男であるエドワード7世 (1841-1910) とデンマーク王女アレクサンドラ (1844-1925) の結婚アルバムです。アレクサンドラ王妃との間に3男3女をもうけ、次男がジョージ5世 (1865-1936) として王位を継承しました。しかし、両親であるヴィクトリア女王とアルバート公夫妻と比較すると、残念ながら夫婦仲はあまり良いものではなかったようです。